

科目名	教育相談特論	担当教員	阿部 利彦
科目属性	専門科目	単位数	2単位(面接0.5単位)
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <p>学校で子どもたちが直面する問題は多様化・複雑化してきており、教育相談、生徒指導、特別支援教育といったそれぞれの枠組みを超えた柔軟な手立てが求められるようになってきている。現代の子どもたちが抱える問題や、教師が会おうさまざまな問題に対して、どう捉え、どのような方法で働きかけることができるかを多角的な視点から検討していく。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの問題行動の理解と支援を学ぶ</li> <li>2 学校カウンセリングの技法を学び、適切に活用できるようにする</li> <li>3 不登校、いじめ問題への対応について学ぶ</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b></p> <p>全15回の授業計画は以下のとおりである。</p> <p>第1回 子どもの行動に隠された意味を理解する</p> <p>第2回 どのように子どもの「やる気」を引き出すかを検討する</p> <p>第3回 子どもの「発達課題」について学ぶ</p> <p>第4回 教育相談における基本的なカウンセリングの技術を学ぶ</p> <p>第5回 子ども及び保護者面接での配慮や工夫について学ぶ</p> <p>第6回 心理検査について学ぶ</p> <p>第7回 知能検査について学ぶ</p> <p>第8回 不登校の原因や支援方法について学ぶ</p> <p>第9回 いじめをめぐるトラブルの対処と予防について学ぶ</p> <p>第10回 無気力な子への関わり方について理解する</p> <p>第11回 緘黙のある子への関わり方について理解する</p> <p>第12回 非行問題行動への対応について理解する</p> <p>第13回 発達障害のある子への対応について理解する</p> <p>第14回 支援に活用できる教材・教具を検討する</p> <p>第15回 ケースカンファレンスのあり方について検討する</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>「スクーリング評価(事前課題を含む)」(30%)、「レポート評価」(30%)、「科目修得試験」(40%)の割合で総合して評価する。</p>			
<p><b>【教科書】</b></p> <p>阿部利彦.(2012). クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL, 金子書房. ISBN: 978-4760826421</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>菅野純.(2001). 教師のためのカウンセリングワークブック, 金子書房. ISBN:978-4760822942</p>			